

**ちよつと小耳に**  
**食卓に安心・安全を届けたい**



はなたとしお **花谷敏雄** さん  
 (株)田の浦水産 取締役

通でヒラメの養殖を手がける(株)田の浦水産が、養殖場としては県内初、全国でも4番目となる「生産情報公表JAS規格」の認定を受けました。生産情報公表JAS規格とは、食品の生産情報を生産者が正確に記録・保管・公表し、消費者がその情報を確認することが出来る食品規格のこと。この規格に基づき、田の浦水産で養殖されたヒラメは、稚魚の由来や育った環境、食べたエサ、使用した薬品など、出荷されるまでの過程をインターネットやFAXで誰でも知ることが出来るのです。「良い環境で育ったヒラメも、そうでないヒラメも見た目は

同じ。食品偽装問題などで食の安全が危ぶまれるなか、どうすれば外国産や他社の商品と差別化できるかを考え、認定の取得に取り組みました」と花谷取締役。厳しい書類審査や現地調査、担当者の講習を経て認定に至ったこのことで、認定後も年1回、認定機関によるチェックが行われるそうです。「長門商工会議所や中小企業支援センターの皆さんの協力もあってここまで来ることができました。この事業を成功させ、これからも皆さんに安心して食べていただけるヒラメを提供していきたいです」と話してくれました。

**熱血! 新鮮力**  
**ふるさと長門のために**



ひらのけいこ **平野恵子** さん  
 長門市役所 勤務

※仕事は 水道課建設係で漏水の調査や水道施設の設計業務などを担当しています  
 ※動機は 大学時代に都市空間計画を専攻していましたが、ふるさと長門のためにその知識を活かせればと思い、この仕事を選びました  
 ※趣味は スポーツ観戦です。中でもサッカーはよく観ますよ。マンチェスターユナイテッドのクリスティアーノ・ロナウド選手が好きですね。あとはスノーボードにもよく行きますよ  
 ※休日は 車で音楽を聴きながらよくドライブに出かけます。海が好きなので、海

沿いを走ることが多いですね。角島がお気に入りです  
 ※好きなタイプは スポーツができるやさしい人がタイプです。結婚は28歳くらいまでにできれば…  
 ※今年の抱負 まだまだ分らないことが多くて勉強の毎日ですが、早く一人前になれるようにがんばりたいと思います



**連絡帳** **明倫小学校**



**感謝をこめて**  
**「いただきます」**

なかのだいき **中野大希** さん  
 明倫小学校 6年

ぼくたち明倫小学校は、現在食育に取り組んでいます。食育の授業や講演会、給食試食会などさまざまな活動をしてきました。朝ごはんを作る調理実習では、献立作りから始め、おいしさだけでなく、バランスよく食材を使う大切さも学びました。

これらの学習がきっかけで、ぼくは、日ごろあっさり食べていた給食に興味を持つようになりました。まず、おいしさの秘密は、地元で取れる食材が多く使われていることです。三隅産はなっこりーのあえ物、長門産の竜田揚げなど大人気です。そして、これらの食材が食卓に並ぶまでに、育てられた農家の方

や、それを調理された方など多くの人の苦労があることもわかってきました。ぼくは、給食委員で後片付けをしますが、明倫小ではほとんど残飯がなく、すばらしいことだと思います。毎日当たり前のように食べている食卓。食べる前に、少し感謝の気持ちを持ててみたらどうでしょうか。手を合わせて言います。「いただきます」。



調理実習の様子

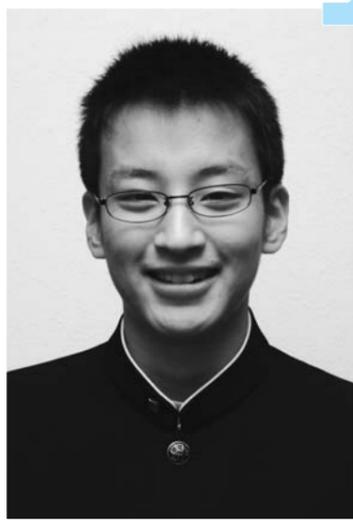
9月7日、「感動ある体育祭」を目指して行われた日置中学校の体育祭。それは、全員の熱気と保護者の方々の激励によってたいへん盛りあがりました。しかし、そこに至るまでの過程には厳しい練習とみんなの団結が必要でした。それなのに、最初の頃の練習では、一人ひとりのやる気の差が動きに出て、何一つうまくいきませんでした。そうして残り時間も少なくなりました。みんなのあせりやいらだちもピークになりました。そこでついにみんなの心に火がついたのです。体はもうポロポロ。しかし、体育祭を成功させたいという全校生徒の気持ちで全員の心も動きも一つにしていきました。

そして本番。みんなの熱い思いは、周りの観客をも巻きこみました。仲間と団結し、本気で競い合いました。そして最後、全員一体となり校歌を歌ったとき、みんなの目からは自然に涙がこぼれていました。全員で心を一つにして創りあげたあの瞬間、それはこれからも僕たちの心に残り続けることでしょう。来年からは後輩たちがどんな体育祭を見せてくれるか今から楽しみです。



体育祭の様子

**連絡帳** **日置中学校**



みついたかし **光井孝志** さん  
 日置中学校 3年

**感動ある体育祭**